

島間の風

平成29年6月21日

南種子町立島間小学校

第 7 号



見えない応援団

校長 永留 良隆

ある日の朝、1年生のK君が登校するなり「校長先生、見て。こんなのがあったよ。」と自慢げに見せてくれたもの。それは集団登校の途中、小平山の道路横で見付けた「さなぎからちょうど羽化しようとしているモンシロチョウ（学校便り右上の写真）」でした。しかも、種子島特産のニガダケの先っぽにさなぎが必死にへばりつき（?）、羽化する瞬間のチョウでした。

翌日の朝、またまたK君が登校して大切そうに持ってきてくれたもの。今度はヘビの抜け殻でした。動物や昆虫にとっても興味があるらしく、K君の登校途中の様子が目に浮かびました。おそらくいろいろな所で立ち止まり、そっと自然に目を留める。心を寄せる。こんな子供の心は大切に育てていきたいものです。

さて、下の写真は、学校本館前の学校園の写真です。学校用務員の牛野先生や児童が、マリーゴールドなどの夏花苗に植え替えてくれました。学校内の学校園・



学級園の苗は全て牛野先生が種をまき、大切に育ててくれたものです。これから暑くなりますが、子供たちには心を込めて育ててほしいです。先日の愛校作業といっしょで、自分たちの学習する・生活する場を自分たちできれいにしていくこと・・・大切な情操教育です。

花はそこに咲いているだけで人の心を和ましてくれます。私も他の学校に行くと、無意識のうちに植栽されている花にふと目が向きます。花は、「誰にもものを言わない」、「誰にも気付かれぬこともある」・・・でもそこにある安らぎ。花は人ではありませんが、学校にとって見えない支えであり、大きな子供たちの応援団です。小さな苗からやがて鮮やかな色の花を咲かせ、校庭で遊ぶ子供たちを見守ってくれるその日まで、心を込めて世話をさせたいと思います。飛び交う子供たちの元気なあいさつ、校庭をこだまする歓声、教室から聞こえる発表の声・・・これが何よりの花苗の栄養分（肥やし）になるのでしょうか。

6月の詩人・・・子供のうた

カエルがゲロゲロ 2年 柳田 さくら

雨の日に カエルが
ギョロギョロないている。
たのしいな。

わたしも いっしょに うたいます。



ヤートセー「お千代口説」の練習

今年の運動会では、仲之町集落のヤートセーをお千代口説で披露する予定です。それに向けて、6月10日（土）の3校時、仲之町集落の方々が9名来校され、子供たちに踊りや楽器の使い方を教えてくださいました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

本校運動会では、3年単位で各集落の踊りを披露しています。これは、子供たちに校区内の踊りを知ってもらい、よき伝統を引き継いでいってほしいという願いからです。どんな踊りになるのか、今から楽しみです。

今後の予定

6月

21日（水）集合学習（中学年）

22日（木）交流学习（高学年）

24日（土）親子読書の日

27日（火）能・狂言教室（本校体育館にて9：45～どなたでも参観できます！）

30日（金）集金日

7月

6日（木）校内水泳大会・学級PTA・学校保健委員会

8日（土）運動会踊り練習

10日（月）職員による安全点検

20日（木）終業式・大掃除

22日（土）親子読書の日

25日（火）町水泳記録会

※ 夏休み出校日は、8月1日と21日の予定です。

校長の独り言・・・「言葉を考える」

【その1】

先日、星原小で地区国語教育研究会があり私も参加しました。この会は教師を対象にした研究会ですが、そこでおもしろい言葉遊びがありました。「〇っ〇り」の〇の中にひらがな一字を入れて言葉をつくるゲームです。「でっぱり、つっぱり、じっくり、びっくり、もっこり、ゆったり、ひっそり・・・」実にたくさん出てきました。家庭でも親子でやってみてください。

【その2】

学年から毎週週報が発行されますが、読んでいて校長室で思わず吹き出してしまったことがあります。先日、給食でギョーザが出てきました。そのギョーザを一口食べた1年生のSさん。思わず発した言葉が「セクシー」。本当は「ジュシー」と言いたかったのだそうです。それにしても、1年生で、こんな横文字を耳にしたり使ったりできるなんて（チョット使い方が違ったけれども・・・）スゴイ！子供の発想は実に豊かです。言葉は変身する！言葉の引き出しが多ければ多いほど、豊かな表現は生まれやすくなります。「言葉の貯金」は、家庭において親子の会話を進めることで、確実に「利子」が増します（?）。



